

## ▶15日 水曜

### 詩篇

147:12 エルサレムよ。主をほめ歌え。シオンよ。あなたの神をほめたたえよ。

147:13 主は、あなたの門のかんぬきを強め、あなたの中にいる子らを祝福しておられるからだ。

147:14 主は、あなたの地境に平和を置き、最良の小麦であなたを満たされる。

147:15 主は地に命令を送られる。そのことばはすみやかに走る。

147:16 主は羊毛のように雪を降らせ、灰のように霜をまかれる。

147:17 主は氷をパンくずのように投げつける。だれがその寒さに耐ええようか。

147:18 主が、みことばを送って、これらを溶かし、ご自分の風を吹かせると、水は流れる。

147:19 主はヤコブには、みことばを、イスラエルには、おきてとさばきを告げられる。

147:20 主は、どんな国々にも、このようには、なさらなかった。さばきについて彼らは知っていない。ハレルヤ。

さらに主への賛美が続きます。その理由は主が家庭を守ってくださるからです。親になると分かることは、子どもを完全に守ることは人間の力ではできないということではないでしょうか。神様の御手が、危険が入り込まないように、「門のかんぬきを強めて」くださいます。そして「子らを祝福して」くださるのです。

それは万事に言えることでしょう。大切なものを守ってくださるのは主です。そのことを忘れないように、主の恵みをおただけるような選択をしましょう。

また主を賛美する理由は、自然界を支配しておられるからです。農業をしている方が実感するのは、気候は人間の力ではどうすることもできないということではないでしょうか。その自然を主は支配なさ



り、「最良の小麦で」満たしてくださるといふのです。

この世には自分の力ではどうにもならないことがたくさんあります。主の恵みをいただくには、主の御心にかなうものであることが重要です。そのためには、「みことば」と「おきて」を教えていただけることは感謝なことなのです。どのように生きるべきかを主に聞きましょう。すでに気づいていることがあるなら、主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

